

1 図書委員の木村さんたちは、学校のみんなが自分たちの町の図書館をもっと利用できるようになればいいと考えています。次は、木村さんたちの町にある梅山市立図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

梅山市内の小学生のみなさんへ

## 図書館だより★5・6月号

梅山市立図書館

梅山市立図書館は、みなさんが利用しやすいように工夫しています。どうぞご利用してください。

■図書館が開いている曜日・時間

- ◇火曜日から金曜日  
午前9時から午後8時まで
- ◇土曜日・日曜日  
午前9時から午後5時まで  
※休みは、毎週月曜日

■本の貸し出しについて

- ◇一人5冊までとし、2週間以内に受け取り返してください。

■読書相談日

- 1・2年生→火曜日
- 3・4年生→水曜日
- 5・6年生→金曜日

※図書館員が、決められた曜日の開館時間内に相談にのります。

■本を探すとき

- ◇コンピュータを使うことができます。使い方が分からないときは、係の人に聞いてください。

◆読書情報◆あなたは、どのくらいの時間、本を読んでいますか？  
「家や図書館での一日の読書時間」(平成19年4月調査)

(時間)	(割合)
全くしない	約25%
1分～29分	約45%
30分～59分	約20%
1時間以上	約10%

(全国の6年生約110万人を対象にした。土曜日・日曜日を除く。マンガや雑誌はふくまない。)

---

★5月・6月の図書館行事★

【人形劇】  
・「スーホの白い馬」  
・5月29日(木)  
・15:30～16:00

【読み聞かせ】  
・「からすたろう」  
・6月15日(日)  
・14:30～15:00

どなたでも参加できます

一 六年生の木村さんは、調べ学習に役立つ本の選び方について図書館員に相談することにしました。木村さんは、何曜日の、何時から何時までの間に相談することができるかを、次のメモに取りました。「図書館だより」の内容に合うように、ア

イの中に入るふさわしい言葉や数字を書きましょう。

【メモ】

ア 曜日の午前九時から イ 時までの間に相談することができる。

ア イ

二 木村さんたち図書委員は、「図書館だより」を読んで、「家や図書館での一日の読書時間」について話し合いました。次は、そのときの記録の一部です。あなたなら、ウのところでのような内容を発表しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【話し合いの記録の一部】

司会 「図書館だより」をもとに、「わたしたち六年生の読書時間を増やすこと」をテーマとして話し合います。「図書館だより」の中のグラフから分かったことと、それをもとにして考えたことを発表してください。

木村さん 家や図書館で一日に一時間以上読書をする六年生は、約十八%もいることが分かりました。わたしは、それほど読書をしていないので、時間を計画的に使って、もっと本を読もうと考えました。

あなたの発表

ウ

（話し合いが続く）

【条件】

- 話し合いのテーマに合わせて、グラフから分かったこと、それをもとにして考えたことを書くこと
- 分かったことについては、木村さんの発表の内容と同じにならないこと
- 八十字以上百字以内にまとめて書くこと

三 木村さんたち図書委員は、この図書館で行われる行事を学校のみんなに広く知らせるために、次のような案内状に書きかえて配ることにしました。あとの問いに答えましょう。

【案内状】

平成20年5月9日

学校のみなさんへ

図書委員一同

【 エ 】の案内

新しい学年になり、約1か月たちましたが、もうすっかり慣れました。さて、わたしたちの町にある梅山市立図書館では、5月と6月に次のような行事があります。楽しい行事ですので、ぜひ参加してください。

〈行事の内容〉

◆5月29日(木)、午後3時30分から午後4時まで、人形劇が行われます。作品は、「スーホの白い馬」です。

◆ オ

※だれでも参加できます。家族や友達をさそってみてください。

- (1) 案内状の題名として、ふさわしい言葉を【エ】の中に書きましよう。
- (2) 行事の内容の二つめとして、ふさわしい内容を【オ】の中に二つの文で書きましよう。

答え【エ】

【 エ 】の案内

答え オ

◆

100字	80字
------	-----

1 図書委員の木村さんたちは、学校のみんなが自分たちの町の図書館をもっと利用できるようになればいいと考えています。次は、木村さんたちの町にある梅山市立図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

梅山市内の小学生のみなさんへ  
図書館だより★5・6月号  
梅山市立図書館

梅山市立図書館は、みなさんが利用しやすいように工夫しています。どうぞご利用してください。

<p>■図書館が開いている曜日・時間</p> <p>◇火曜日から金曜日 午前9時から午後8時まで</p> <p>◇土曜日・日曜日 午前9時から午後5時まで ※休みは、毎週月曜日</p> <p>■本の貸し出しについて</p> <p>◇1人5冊までとし、2週間以内 に受け取り返ししてください。</p>	<p>■読書相談日</p> <p>1・2年生→火曜日 3・4年生→水曜日 5・6年生→金曜日 ※図書館員が、決められた曜日の 開館時間内に相談にのります。</p> <p>■本を探すとき</p> <p>◇コンピュータを使うことができ ます。使い方が分からないときは、 係の人に聞いてください。</p>
---	---

◆読書情報◆あなたは、どのくらいの時間、本を読んでいますか？  
【家や図書館での一日の読書時間】(平成19年4月調査)

時間	割合(%)
全くしない	15
1分～29分	45
30分～59分	30
1時間以上	10

(全国の6年生約110万人を対象にした。土曜日・日曜日を除く。マンガや雑誌はふくまない。)

★5月・6月の図書館行事★

<p>【人形劇】 ・「スーホの白い馬」 ・5月29日(木) ・15:30～16:00</p>	<p>どなたでも 参加できます</p>	<p>【読み聞かせ】 ・「からすたろう」 ・6月15日(日) ・14:30～15:00</p>
--	-------------------------	---

一 六年生の木村さんは、調べ学習に役立つ本の選び方について図書館員に相談することにしました。木村さんは、何曜日の、何時から何時までの間に相談することができるとかを、次のメモに取りました。「図書館だより」の内容に合うように、ア イ

【メモ】

ア 曜日の午前九時から  
イ 時までの間に相談することができます。

ア 金  
イ 午後八

二 木村さんたち図書委員は、「図書館だより」を読んで、「家や図書館での一日の読書時間」について話し合いました。次は、そのときの記録の一部です。あなたなら、ウ のところでどのような内容を発表しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【話し合いの記録の一部】

<p>司会 「図書館だより」をもとに、「わたしたち六年生の読書時間を増やすこと」をテーマとして話し合います。「図書館だより」の中のグラフから分かったこと、それをもとにして考えたことを発表してください。</p>	<p>木村さん 家や図書館で一日に一時間以上読書をする六年生は、約十八%もいることがわかりました。わたしは、それほど読書をしていないので、時間を計画的に使って、もっと本を読もうと考えました。</p>
<p>あなたの発表</p> <p>ウ</p>	<p>あなたの発表</p> <p>ウ</p>

（話し合いが続く）

【条件】

- 話し合いのテーマに合わせて、グラフから分かったこと、それをもとにして考えたことを書くこと
- 分かったことについては、木村さんの発表の内容と同じにならないこと
- 八十文字以上百文字以内にまとめて書くこと

例 家 や 図 書 館 で 一 日 に  
読 書 を 全 く し な い 六 年 生  
は 、 約 二 十 % も い る  
こ と が 分 か り ま し た  
読 書 時 間 を 増 や す た  
に は 、 計 画 を 立 て り の  
学 校 や 町 の 図 書 館 で  
学 習 を し た り 図 書 館  
べ 学 習 を し た り 図 書 館  
い い と 考 え ま す

100字 80字

三 木村さんたち図書委員は、この図書館で行われる行事を学校のみんなに広く知らせるために、次のような案内状に書きかえて配ることにしました。あとの問いに答えましょう。

【案内状】

平成20年5月9日  
学校のみなさんへ  
図書委員一同

【エ】の案内

新しい学年になり、約1か月たちましたが、もうすっかり慣れましたか。さて、わたしたちの町にある梅山市立図書館では、5月と6月に次のような行事があります。楽しい行事ですので、ぜひ参加してください。

〈行事の内容〉

◆5月29日(木)、午後3時30分から午後4時まで、人形劇が行われます。作品は、「スーホの白い馬」です。

◆

オ

※だれでも参加できます。家族や友達をさそってみてください。

(1) 案内状の題名として、ふさわしい言葉を【エ】の中に書きましょう。

(2) 行事の内容の二つめとして、ふさわしい内容を【オ】の中に二つの文で書きましょう。

答え【エ】  
【(例) 梅山市立図書館の五月・六月の行事】の案内

答え オ  
◆(例) 六月十五日(日)、午後二時三十分から午後三時まで、読み聞かせが行われます。作品は、「からすたろう」です。